

地域交通の利便性向上に向けた意見交換資料(概要版)

十勝南モデル地域 ワーキングチーム(交通関係)

利用状況の把握・交通データ

把握しているデータ

- ・ バスの利用者数(概ね定時的に把握できている)
- ・ 属性、目的、頻度などの詳細なデータ
(OD調査、アンケート調査等の調査時点のデータのみ保有)

必要なデータ

- ・ 既存路線の詳細な移動状況
(属性、目的、頻度(時間帯別、停留所別))
- ・ バス路線が無い区間の観光客も含めた潜在的なニーズ
- ・ 自家用車で移動が不可能な住民の把握
(買い物難民等)

困っていること

- ・ コミュニティバスの便数や待ち時間で不便をかけている
- ・ 自分で運転できない高齢者の買い物や通院
- ・ タクシーが無い
- ・ バスの便により、進学する高校の選択に影響が出る
- ・ 空港と南十勝を直通で結ぶ公共交通が無い
- ・ 空港連絡バスと広尾線の乗り継ぎ待ち時間
- ・ 詳細なデータが取れるICカード対応精算機の導入は高額で難しい

今後必要な取組

- ・ 十勝南地域で連携した十勝バス(広尾線)の詳細な利用状況の把握
- ・ 幹線や支線の交通モードが上手く乗り継げるダイヤ設定
- ・ 隣接自治体によるコミュバス同士の接続
- ・ 帯広市へのアクセス向上のために、高規格道路を活用した移動手段の検討
- ・ バス停での待合環境の改善(特に接続ポイント 例:上士幌バスターミナル)
- ・ 乗り換え案内アプリ等を用いた容易な乗り換え検索
- ・ ICTを活用したMaasサービス
- ・ 生活利用者の減少は避けられないため、観光客に利用してもらう取組が必要
- ・ 飛行機の発着に合わせた南十勝全体のバスの運行
- ・ 空港と南十勝の直通便(自家用車やレンタカー利用者が多い中、どれだけ需要があるかは分からないが)、又は、ダイヤの調整やタクシーとの接続など、既存インフラの活用
- ・ 国・道・自治体の支援のあり方の検討